株式会社コダマ

取締役社長
児玉　泰州（こだま　やすくに）氏

―円安を受け、取引先の製鉄、特殊鋼関連企業からの受注が増えているそうですね。

国内メーカーが前向きな投資計画を掲げるようになり、島根県内の工場でも同様の動きが見られます。事業の追い風となっており、大型案件も受注しました。昨年、創業100周年を迎える5年後の売上高を1・5倍に引き上げる目標を設定しました。製鋼鋳型の多品種化への対応、金属の溶解や熱処理に使われるプラント設備など、手掛ける製品を着実に納入し、達成を目指します。

―設備投資では、3次元CAD（コンピューター利用設計システム）ソフトの積極的な導入が目立ちます。

設計する中で、CADの活用は高精度化につながります。今後も企画力と技術力を磨き、顧客満足度の向上に努めます。

プラズマ溶射 実用化狙う

展開する事業のうち、プラント製造部門は企画から設計、施工、メンテナンスまで、一貫したサービスを提供できることが強みです。納品先の製造現場での使いやすさを追求し、設計する中で、CADの活用は高精度化につながります。今後も企画力と技術力を磨き、顧客満足度の向上に努めます。

―島根県産業技術センターと連携して取り組む、プラズマ溶射の技術開発の進行状況はいかがですか。

確立には、まだ時間がかかりそうです。セラミックスを溶かし、基材に皮膜を形成することで耐摩耗性などの機能を高めることを狙った技術です。中国横断自動車道尾道松江線の開通で、広島県内の企業に関心を持っていただくなど、ニーズが広がる感触もあり、何とか実用化にこぎつけたいと考えています。

―中途採用などで増員を進める一方、人材育成にも力を入れておられますね。

増資や大型案件に対する受注能力の強化も大切ですが、人手不足が深刻化する中、「人づくり」も経営戦略上、重要度を増していると感じています。増員は業容拡大に対応するためで、計画的にエンジニアや技能士を確保しています。今後も働きやすい環境を整え、創造性あふれる、ものづくり集団を形成していきます。

同社が設計したアモルファスコアのリサイクルプラント

会社概要

◇所在地　松江市富士見町1-3（松江鉄工団地内）
◇創業　1919年4月
◇設立　1947年10月21日
◇資本金　2,000万円
◇代表者　取締役社長　児玉 泰州
◇行動規範「人・挑戦・未来」
◇職場スローガン「安全で活気のある職場になろう」「効率がよく良い製品がつくれる“ものづくり”職場になろう」
◇従業員数　50名
◇ホームページ　http://www.k-kodama.co.jp/

株式会社コダマサイエンス

代表取締役
小田　隆弘（おだ　たかひろ）氏

―都市部と違い、地方は景気が上向いている実感がありません。

島根県中小企業家同友会の代表理事を務めていますが、会員の集まりでもいい話を聞きません。地方が元気を取り戻す一つの方法として、企業同士の実のある連携が求められています。信頼関係を強めて社の内情をさらけ出し、先方の企業の弱点を、強みを持つ企業が具体的にサポートする仕組みづくりが不可欠です。

―「地方創生」が叫ばれています。どうすれば地域が活性化しますか。

社員と家族の絆へ 新制度

若い人たちの定住が地域に活力を生みますが、島根大学などの学生は大企業志向が強いのか、都会に出て就職したいという傾向にあるようです。大企業に比べると、地元企業の中小企業の経営者の皆さんも、意識改革をしなければなりません。

―ワークライフバランスは今後、ますます大切になってきますね。

社員の幸福は「家族と一緒に夕食中の子どもを持つ社員に、特別な手当を支給する制度を新設しました。

―シロアリ関連の市場が縮小する中、住宅インスペクション（診断）に注力されています。

わが社はシロアリ被害の予防、駆除を専門にしており、その延長線上の事業です。耐震改修などは、2年半ぶりに復活した「住宅エコポイント制度」が追い風になります。診断に関する社内講演会によって、社員の意識もさらに高まっています。

―人材育成に向け、社員教育を重要視しておられます。

保守的な社員が多いのか、新規事業の提案がほとんどありませんでしたが、管理者研修などで少しずつ意識が変化し、前向きな提案が出るようになりました。現在、社員提案による新事業の具体化に向けて取り組んでおり、楽しみにしています。

床下調査の実施状況

会社概要

◇所在地　島根県松江市西嫁島二丁目8-23
◇設立　1976年4月
◇資本金　4,000万円
◇代表者　代表取締役　小田 隆弘
◇従業員　78名（役員含む）
◇事業内容　建築物害虫防除、蟻害腐朽検査、建築物防腐処理施工、ゴキブリ・ネズミ等防除、住宅環境設備（床下換気ファン・床下防湿施工）、耐震診断、耐震改修工事
◇営業所　松江、江津、益田、隠岐、鳥取、倉吉、米子、広島
◇ホームページ　http://www.kodama-s.co.jp/

小松電機産業

代表取締役
小松　昭夫（こまつ　あきお）氏

―画期的なクラウド総合水管理システム「やくも水神」の売れ行きが伸びていますね。

今年3月現在、全国360自治体、8000施設で稼働しています。1月にも、1市6町の広域合併で生まれた鹿児島県霧島市の上水道120施設の管理に、大手を含む7社の中から採用されました。スマートフォンやタブレット端末での管理が可能なため、高額な中央監視装置が不要で、上下水道だけでなく、あらゆる水の管理に適用できます。インフラ管理コストが劇的に下がり、世界規模での新産業創出、地方創生のモデルになると確信しています。

―高速シートシャッターシステムも好調です。

「和の文化」から世界平和へ

コンパクトな作りながら、工場の出入り口などを効率よく開閉できます。開閉速度が速く、防塵、冷暖房等、工場環境の改善に大きな効果を発揮します。近年、食品への異物混入が社会問題化していることを受け、シートに防虫機能と、内部に入った虫を外に誘引する機能を併せ持つマジックオプトロン門番を3社共同開発・発表させていただきました。

―昨年11月には平和や女性の社会参画をテーマにしたシンポジウムを主催されました。

オランダの女性芸術家イングリッド・ロレマさんをお招きし、オーストリアの小説家で、女性初のノーベル平和賞受賞者になったベルタ・フォン・ズットナーについて語っていただきました。ズットナー像、春を告げる花スノードロップの活動がきっかけとなり、世界に活動の輪が広がり始めました。

―地方から世界レベルの製品を発信されている秘訣は何でしょうか。

文化・歴史を研究、論理的仮説を立て、時代の流れを先読みし、順序を踏んで待つこと、そして、核拡散やスマートフォン、国際分業の時代を受け止め、出雲神話、小泉八雲の開かれた精神と自分史に、イノベーションの成果を組み合わせることです。人類史より生まれた対立の文化を、和の文化へ導き、世界平和への流れをこの地域から生み出したいですね。

本社社屋

会社概要

◇所在地　松江市乃木福富町735-188
東京・大阪・東北
TEL 050-3161-2490
◇創業　1973年2月
◇資本金　1億円
◇代表者　代表取締役　小松 昭夫
◇従業員数　96名（2015年2月末現在）
◇事業内容　シートシャッター「門番」
総合水管理システム「やくも水神」
◇関連会社　KOMATSU KOREA
◇ホームページ　http://www.komatsuelec.co.jp/

境港市観光協会

会長
桝田　知身（ますだ　ともみ）氏

―2014年の水木しげるロードの入り込み客数は約232万人でした。

集客が最も見込める8月に台風が相次いで襲来するなど、行楽期に悪天候が続いたのが響き前年より約50万人減りました。とはいえ、5年連続で200万人を突破し、山陰両県でも有数の観光地に育ちました。

―ロードのリニューアルに向けた準備が進んでいます。

観光地の地域間競争が激しさを増している中、観光客に飽きられないことが重要です。リニューアルでは、車道を一方通行にする一方、歩道は大幅に広げ、ベンチなどの休憩スペースを確保します。153体のブロンズ像は、河童や小僧妖怪、鬼太郎ファミリー、山陰地方の妖怪といったグループ別に展示する計画です。リニューアルで歩行者に優しいロードに生まれ変わり、新たな魅力の創出につながると考えています。

―今秋にはJR境港駅前にホテルが完成します。

境港市はこれまで、昼間の観光が中心でしたが、宿泊施設ができることで、夜の観光対策も必要になります。今夏にはロード内の河童の泉や水木しげる記念館前で、ライトアップが始まる予定です。ロードの全体的なライトアップは、リニューアルの完成後、専門家にプロデュースしてもらおうと考えています。ライトアップにより、夜のロードの魅力を向上させることができます。集客につながれば、夜のロードが活性化すると考えています。

―境港はクルーズ客船の寄港で、外国人観光客も増えていますね。

巨大な船が入ることができる港というハードがあるのは大きいですね。日韓ロを結ぶDBSクルーズフェリーも定期運航している中、外国人観光客の取り込みは大きなテーマです。実績を積み上げていきたいものですが、外国語への対処のほか、クレジットカードや電子マネーの導入、公衆無線LANサービス「Wi Fi（ワイファイ）」のエリア拡大など課題はたくさんあります。外国人客に対応できるよう、リードしていきたいと考えています。

水木ロード 一新 魅力創出

（株）源吉兆庵・境港市観光協会共同開発「境港妖羹」

組織概要

◇所在地　事務局　鳥取県境港市竹内団地255-3 夢みなとタワー1階
観光案内所　境港市大正町215 みなとさかい交流館1階
物産観光センターみなとまち商店街
境港市竹内団地255-3 夢みなとタワー1階
◇代表者　会長　桝田 知身
◇職員数　24名
◇会員数　241（2015年3月現在）
◇事業内容　・観光客誘致、特産品のPR
・イベントの企画運営
・国内外の一般及び観光客への案内業務
・特産品の紹介、委託販売　など
◇ホームページ　http://www.sakaiminato.net/

株式会社山陰アペックス

取締役会長
藤原　靖男（ふじはら　やすお）氏

―業界の昨年の実感と今年の見通しをお聞かせください。

住宅産業に属する業種は、消費増税前の駆け込み需要が一段落して、昨年4月からは前年割れの状況が続いています。今年は消費物価の上昇で消費マインドが慎重になると予測されていて、特に建築業界はリフォームに力を入れる営業展開が明暗を分けるだろうと思っています。

―新年度を迎え、社業発展に向けた取り組みを。

わが国の住宅新設は人口減と並行して減少傾向をたどるのは確実で、当社も新築分野は低水準で移行するとの見通しです。一方で、空き家は全国に820万戸もあり、山陰両県でも相当数あり、危険家屋も年々増えて社会問題にもなっています。当社は40年間、住宅のシロアリ防除、防湿、ハウスクリーニング等の業務を手掛けてきましたが、その技術を生かして危険家屋になる前に保存するとの歴史を保存するという大きな使命を持ち、所有者の方が安心して所有できる体制を構築してまいります。

―どういった仕組みなのですか。

特長は遠隔地でも家の状態をインターネットで見ることができ、余分な手間や交通費をかけないでも近隣の情報や家屋、敷地内の樹木や雑草の状況を把握できるシステムです。防犯についても警備会社など関連業種と業務提携しています。不動産・建築業界や行政との協力をより密にして地域社会に貢献できる企業を目指していきます。

使命持ち空き家保存事業

本社社屋

会社概要

◇所在地　松江市西嫁島2丁目6-1
TEL 0852-23-3127
◇創業　1976年1月30日
◇設立　1976年9月2日
◇資本金　1,000万円
◇代表者　取締役会長　藤原 靖男
代表取締役　勝部 陽治
◇事業内容　しろあり防除及び防腐工事
床下換気扇・床下防湿施工
神社仏閣の洗い工事 空き家管理サービス
◇所属団体　公益社団法人日本しろあり対策協会会員
一般社団法人島根県住まいづくり協会会員
日本環境動物昆虫学会会員
一般社団法人日本空き家管理協会会員
◇営業所　出雲営業所　出雲市渡橋215-1
米子営業所　米子市長砂町780-2
◇ホームページ　http://apex.bbbk.net/